

平成31年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

言語コミュニケーション・言語教育

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

九州大学大学院地球社会統合科学府

【共通問題】

問1 . 次の 1～18 から 6 つ 選び、選んだ語句の番号を解答用紙に書いた上で、それぞれ具体例を挙げて説明しなさい。 (20 点 × 6 = 120 点)

1. 共感覚メタファー (synaesthetic metaphor)
2. フレーム (frame)
3. semantic prosody
4. スキャフォールディング(scaffolding)
5. スキャニング(scanning)とスキミング(skimming)
6. タスク重視の教授法(the Task-Based Language Teaching)
7. 口蓋音化(palatalization)
8. 歯擦音(sibilant)
9. 「対話」対「共話」
10. アクセント核
11. 波形とスペクトログラム (spectrogram)
12. 無声化
13. DST (Dynamic Systems Theory)
14. コネクショニズム (Connectionism)
15. (言語習得における) input と intake
16. シャノンとウィーバーのモデル(Shannon and Weaver Model)
17. ロバート議事法(Robert's Rules of Order)
18. モンローの説得技法(Monroe's Motivated Sequence)

【選択問題】

問2 . 次の ~ から 2つ 選び、それぞれについて解答しなさい。選んだ問題の番号を解答用紙に書きなさい。 (40 点×2 = 80 点)

I. コーパス言語学に関する以下の(1)(2)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1) 言語研究のためのコーパスを構築するにあたり、留意すべきことを論じなさい。作成するコーパスの種類や目的の違いなども考慮に入れること。(20 点)
- (2) コーパス言語学と認知言語学の接点について論じなさい。(20 点)

II. 音声・音韻に関する以下の(1)(2)(3)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1) 現代日本語の鹿児島市方言のアクセント体系について、説明しなさい。(10 点)
- (2) 現代日本語の「連濁」とは何かを定義し、さらに、それがいかなる場合に生じにくいかについて、具体例を挙げつつ、可能な限り、仔細に説明しなさい。(15 点)
- (3) 中期朝鮮語に見られた、3 種の有声摩擦音について、具体例を挙げつつ、説明しなさい。(15 点)

III. 以下の(1)(2)(3)(4)の問いに答えなさい。(40 点)

- (1) 「語の意味には階層がある」と言われる。この文の意味するところを、具体例をあげながら簡潔に説明しなさい。(10 点)
- (2) 「モダリティとは何か」を、具体例をあげながら説明しなさい。(10 点)
- (3) 「テンスにおける多義性とは何か」を、英語の過去時制を例にして、論じなさい。(10 点)
- (4) Reichenbach の時制論について知るところを具体的に述べなさい。(10 点)

IV. ポライトネス研究の主要なアプローチとして「合理主義的アプローチ」と「言説的アプローチ」がある。これに関連して(1)(2)の問いに答えなさい。(40点)

(1) 両者がポライトネスについてどのような見方をしているかを説明しなさい。(20点)

(2) 両者の方法論について説明しなさい。(20点)

V.

2000年以降、大学や民間の日本語学校は文化庁が策定した指針を参照して養成課程のカリキュラムを作ってきた。2018年3月、同庁による日本語教師などの養成や研修の指針が18年ぶりに改訂された。今回、改訂された日本語教師養成に関する指針に関連する以下(1)(2)の問いに答えなさい。(40点)

(1) 今回の改訂は、2000年以降の日本語教師養成や研修のどのような問題点を解消しようとするものか、その問題点について具体例を示しつつ説明しなさい。(20点)

(2) 今回の改訂では、養成課程で学ぶべき内容を絞る一方、就職後の初任者研修の内容は多様にしたと言われている。どのような点が改訂のポイントになっているのか、具体例を示しつつ説明しなさい。(20点)

VI. 例をあげつつ、ダイグロシアとバイリンガリズムについて述べなさい。(40点)

VII. チョムスキーが提唱する「言語能力」および「言語運用」の意味とその概念の違いについて詳述しなさい。(40点)

VIII. Krashen のインプット仮説 (The Input Hypothesis) について以下の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) Krashen はインプット仮説のもとに5つの下位仮説を提唱したが、それぞれについて説明しなさい。(20点)

(2) その5つの下位仮説についてそれぞれ批判的に論評しなさい。(20点)

IX. 下記文章は Alfred Snider の Gaming Theory of Debate に関する論文の一節です (Snider, 2003, p. 20)。この文章および一般的なアカデミックディベートの知識に基づいて以下の(1)(2)の設問に具体的に答えなさい。(40 点)

「ウェブ公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文は Gaming Theory of Debate に関する内容の英文 20 行」

- (1) 伝統的なポリシーメーカーキングの判定基準とはどのようなものですか。(10 点)
- (2) 伝統的な判定基準に代わる判定基準に基づく議論方法が 3 つ例示されています。それぞれどのようなものですか。(10 点 × 3=30 点)